

記者発表資料

平成24年度 横浜国道事務所の事業概要

横浜国道事務所では、当初予算約324億円をもって首都圏中央連絡自動車道(圏央道)等の改築事業や国道1号、15号、16号、246号、357号、409号6路線(延長約256km)の交通安全事業、電線共同溝事業、共同溝事業等を実施します。

■改築事業

- 圏央道(さがみ縦貫道路、横浜湘南道路、高速横浜環状南線)は、昨年度に引き続き、改良、トンネル、橋梁工事、用地買収等を推進します。
- 東京湾岸道路(神奈川県区間)は、昨年度に引き続き、根岸地区の橋梁工事等を推進します。
- 平成24年度より「神奈川県16号環境対策」が新規事業化され、沿道環境整備事業に新たに着手します。

圏央道の茅ヶ崎JCT～寒川北IC間(延長5.1km)、海老名IC～相模原菱川IC間(延長10.1km)が今年度開通する予定です。*
また、国道246号 山北バイパス(延長1.0km)が今年度開通する予定です。

■交通安全事業、電線共同溝事業

- 平成24年度より国道1号「横浜駅前EV整備」、「茅ヶ崎地区自転車道整備」等の交通安全事業、国道1号「原宿電線共同溝」事業に新たに着手します。

※さがみ縦貫道路のIC名称決定についても、本日付で国土交通省横浜国道事務所・相武国道事務所、中日本高速道路(株)において記者発表しております。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川県建設記者会／神奈川県政記者クラブ
横浜市政記者会／横浜ラジオ・テレビ記者会／川崎記者クラブ／相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2
電話 045-311-2981(代表)
副所長 松山 隆雄 (まつやま たかお)(内線204)
計画課長 久保 尚也 (くぼ なおや) (内線261)

平成24年度 横浜国道事務所 事業費

(単位:百万円)

事業名		事業費
改築事業		26,280
	国道1号 川崎1号環境整備	70
	国道1号 原宿交差点改良	30
	国道1号 新湘南バイパス	10
	国道1号 小田原箱根道路	900
	国道16号 横須賀地区トンネル改修	10
	国道16号 神奈川16号環境対策(H24年度より新規)	30
	国道246号 厚木秦野道路	490
	国道246号 秦野IC関連	10
	国道246号 山北バイパス	100
	国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)	3,710
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	5,000
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(横浜湘南道路)	800
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(茅ヶ崎～海老名)	12,820
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(海老名～厚木)	2,300
交通安全事業	国道1号 横浜駅前EV整備事業他47箇所	2,477
電線共同溝事業	国道246号 平沢電線共同溝他23箇所	3,620
共同溝事業	国道16号 保土ヶ谷共同溝	30
合計		32,407

※上記の他、維持管理費、調査費、業務取扱費がある。

横浜国道事務所の主な事業

凡例

改築事業

交通安全事業、
共同溝事業

凡例

- (建設) 自動車専用道路
- (建設) 計画道路
- (建設) 事業中
- (建設) 計画道路
- (建設) 国道(管轄内)
- (建設) 国道(管轄区外)
- 横浜国道事務所
- 出張所



路線名	管理延長
1号	92.5
15号	11.2
16号	56.8
246号	73.1
357号	14.4
409号	8.1
合計	256.1

(単位:km) (平成24年4月1日現在)

電線共同溝事業実施箇所
(引込管等設備工事、路面復旧工事含む)

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[圏央道]

概要

圏央道は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路で、3環状9放射ネットワークの一部を形成し、東京都中心部への交通の適切な分散導入を図り、首都圏全体の交通の円滑化、首都圏の機能の再編成を図る上で重要な路線です。

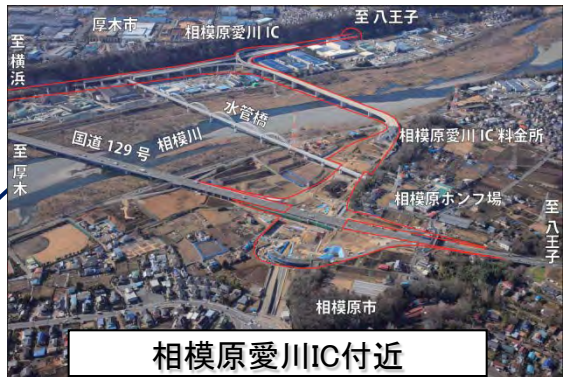
神奈川県内においては「さがみ縦貫道路」「横浜湘南道路」及び「横浜環状道路」の一部ともなる「高速横浜環状南線」の3区間に分かれており、湾岸地域と内陸地域を結ぶ新たな交通軸としても期待されています。これまでに海老名JCT～海老名ICの間の1.9kmが開通しています。

【事業区間】

国道468号 首都圏中央連絡自動車道
(さがみ縦貫道路、横浜湘南道路、高速横浜環状南線)



【さがみ縦貫道路の状況(24年1月撮影)】



凡例	
	開通済区間
	事業中区間

※高速横浜環状南線、横浜湘南道路の未供用区間のIC名称は、仮称です。

※さがみ縦貫道路のIC名称決定については、本日、別途記者発表(「さがみ縦貫道路のインターチェンジ名称が決定しました。」)しております。

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[茅ヶ崎～海老名]

(茅ヶ崎市、寒川町、海老名市)

平成24年度事業費：128.2億円

概要

圏央道(茅ヶ崎～海老名)は、圏央道(さがみ縦貫道路)の一部区間であり、神奈川県内南北方向の交通軸として都市間の道路交通網強化及び交通混雑の緩和を目的とした道路です。

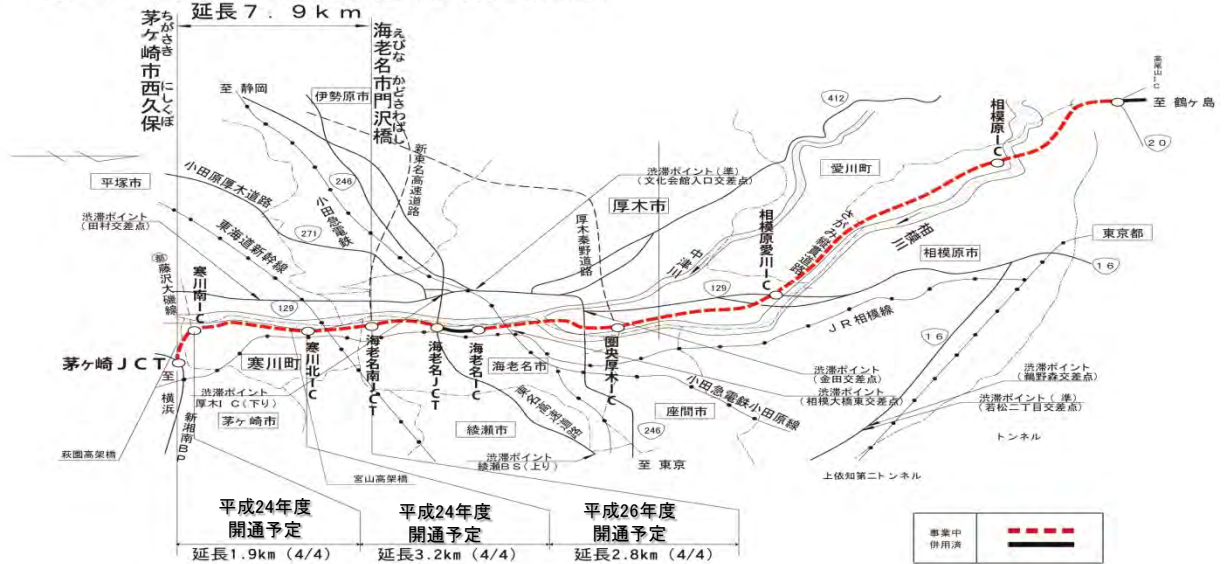
これまでの状況

茅ヶ崎JCT～海老名南JCTまでの延長7.9kmの区間について、調査設計、用地買収及び橋梁、改良工事等を実施しており、用地進捗率は約99%(平成24年3月末現在)に達しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計、埋蔵文化財調査、用地買収及び橋梁、改良工事等を実施する予定です。また、茅ヶ崎JCT～寒川北IC間(延長5.1km)が今年度開通する予定です。

国道468号首都圏中央自動車道(茅ヶ崎～海老名)



寒川南IC付近(平成24年1月撮影)



寒川北IC付近(平成24年1月撮影)

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[海老名～厚木]

(海老名市、相模原市、厚木市)

平成24年度事業費：23億円

概要

圏央道(海老名～厚木)は、圏央道(さがみ縦貫道路)の一部区間であり、神奈川県内南北方向の交通軸として都市間の道路交通網強化及び交通混雑の緩和を目的とした道路です。

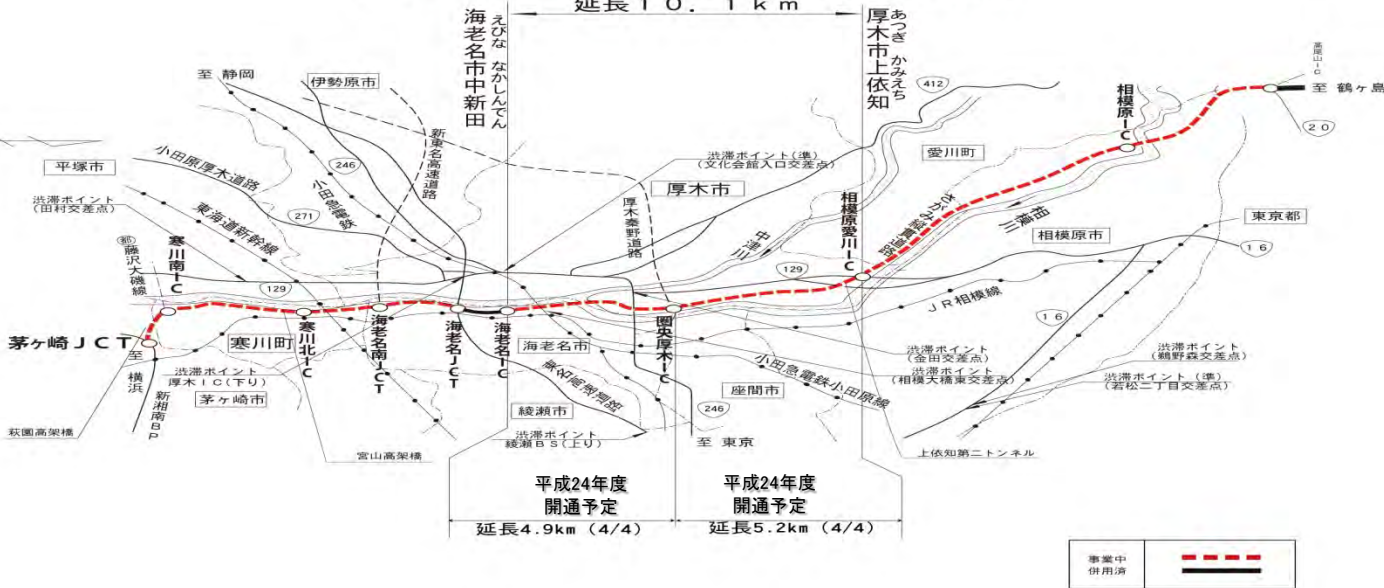
これまでの状況

海老名IC～相模原愛川ICまでの延長10.1kmの区間について、調査設計、用地買収、橋梁及びトンネル工事等を実施しており、用地進捗率は約99%(平成24年3月末現在)に達しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計、埋蔵文化財調査、用地買収、改良、トンネル、橋梁工事等を実施する予定です。また、海老名IC～相模原愛川IC間(延長10.1km)が今年度開通する予定です。

国道468号首都圏中央自動車道(海老名～厚木)
延長10.1km



圏央厚木IC付近(平成24年1月撮影)



国道129号交差部付近(平成24年1月撮影)

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[横浜湘南道路]

(横浜市、鎌倉市、藤沢市)
平成24年度事業費:8.0億円

概要

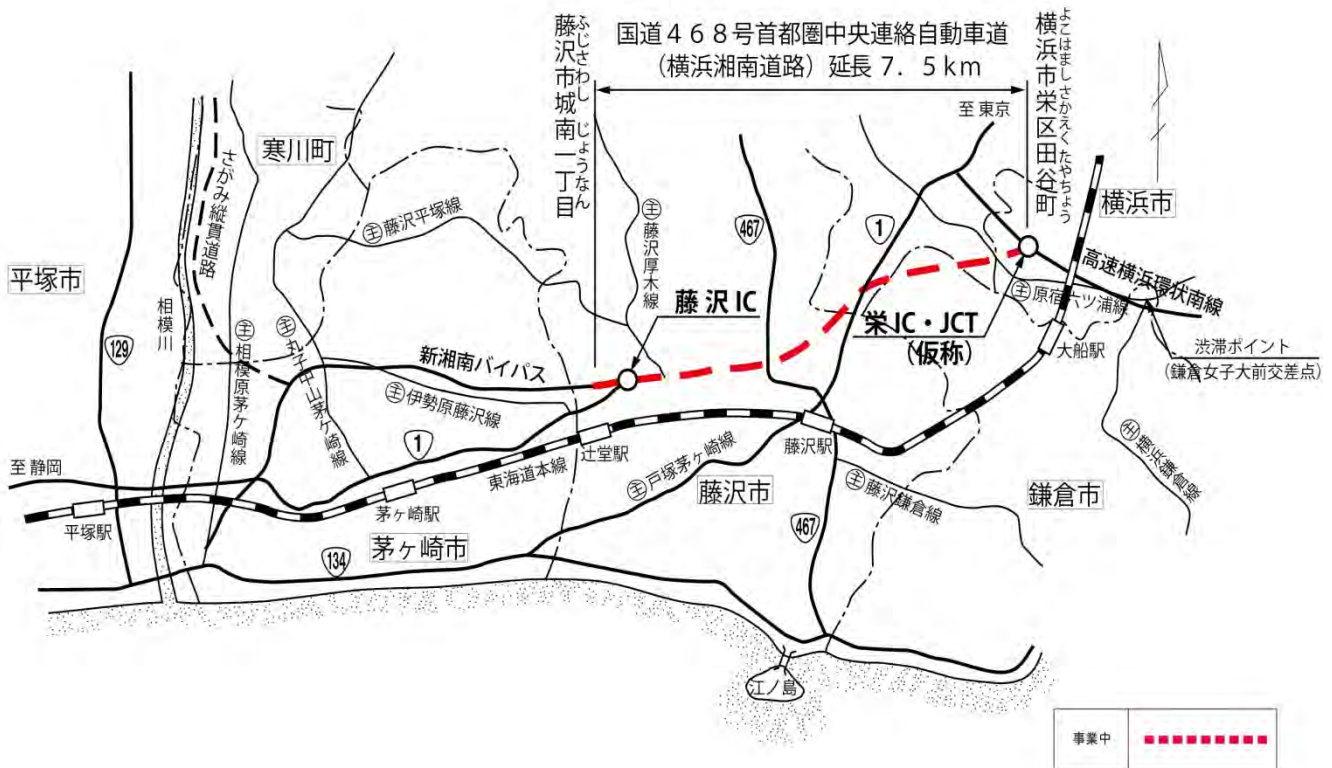
圏央道(横浜湘南道路)は、さがみ縦貫道路や高速横浜環状南線及び既に開通している区間の新湘南バイパスと一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担を適正化、国道1号等の交通混雑の緩和を目的とした道路です。

これまでの状況

横浜市栄区田谷町^{たやちょう}～神奈川県藤沢市城南一丁目^{じょうなん}までの延長7.5kmについて、調査設計及び用地買収を実施しており、用地進捗率は約52%(平成24年3月末現在)となっています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計及び用地買収、歩道橋移設工事を実施する予定です。



国道468号 首都圏中央連絡自動車道[金沢～戸塚]

(横浜市、鎌倉市)

平成24年度事業費：50億円

概要

圏央道(金沢～戸塚)【高速横浜環状南線】は、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性を向上し、交通渋滞の緩和、副都心や地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化を促すことを目的とした道路です。

これまでの状況

横浜市金沢区釜利谷町～横浜市戸塚区汲沢町までの延長8.9km(一部事業は東日本高速道路(株)が担当)について、道路設計及び用地買収を実施しており、用地進捗率は約74%(平成24年3月末現在)となっています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計及び用地買収を実施する予定です。



国道1号 原宿交差点改良

はらじゆくこうさてんかいりょう

(横浜市)

平成24年度事業費:0.3億円

概要

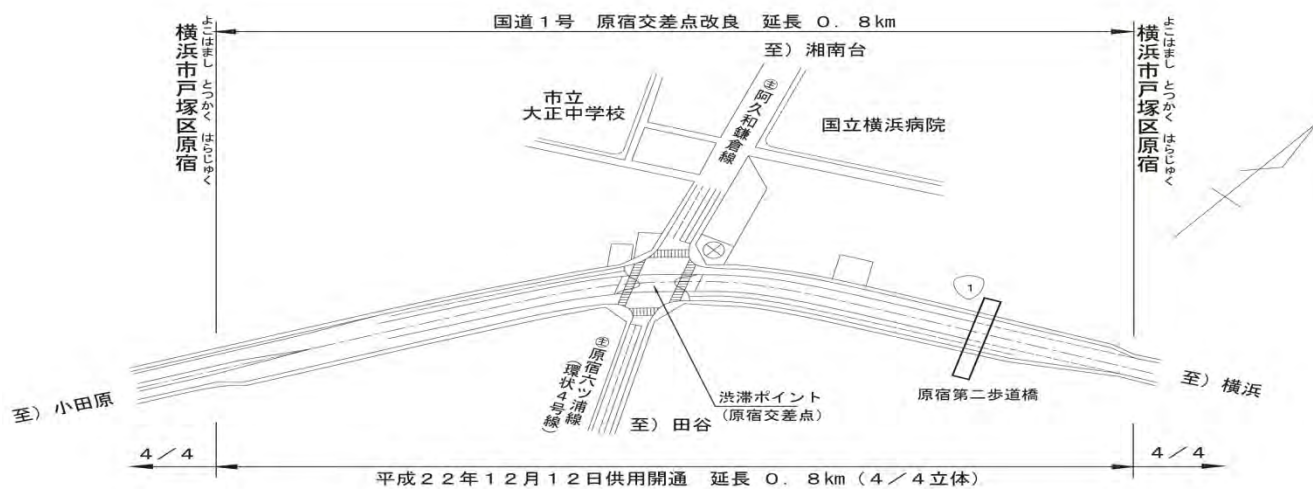
国道1号原宿交差点改良は、国道1号と主要地方道原宿六浦線(環状4号線)、主要地方道阿久和鎌倉線が交差している原宿交差点において、慢性化している交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした延長0.8kmの交差点立体化事業です。

これまでの状況

交差点立体化について、上り線が平成21年4月4日、下り線が平成22年12月12日に開通し、交差点の立体化が完成し、原宿交差点を先頭とする渋滞が解消するなど大きな整備効果が発現されています。

平成24年度の予定

今年度は、調査設計、側道及び歩道整備を実施する予定です。



事業前の状況

(平成18年9月撮影)



全線開通1年後の状況(今回)

(平成24年2月撮影)



※ 国道1号原宿2丁目付近の横断歩道橋から原宿交差点(藤沢方面)を望む

国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)

(横浜市、横須賀市)
平成24年度事業費:37.1億円

概要

東京湾岸道路は、空港及び港湾施設や湾岸地域の連絡を強化するとともに、周辺地域の開発支援、物流の効率化と都市内交通の混雑緩和を図る等、円滑な道路交通網の形成に寄与する道路です。

これまでの状況

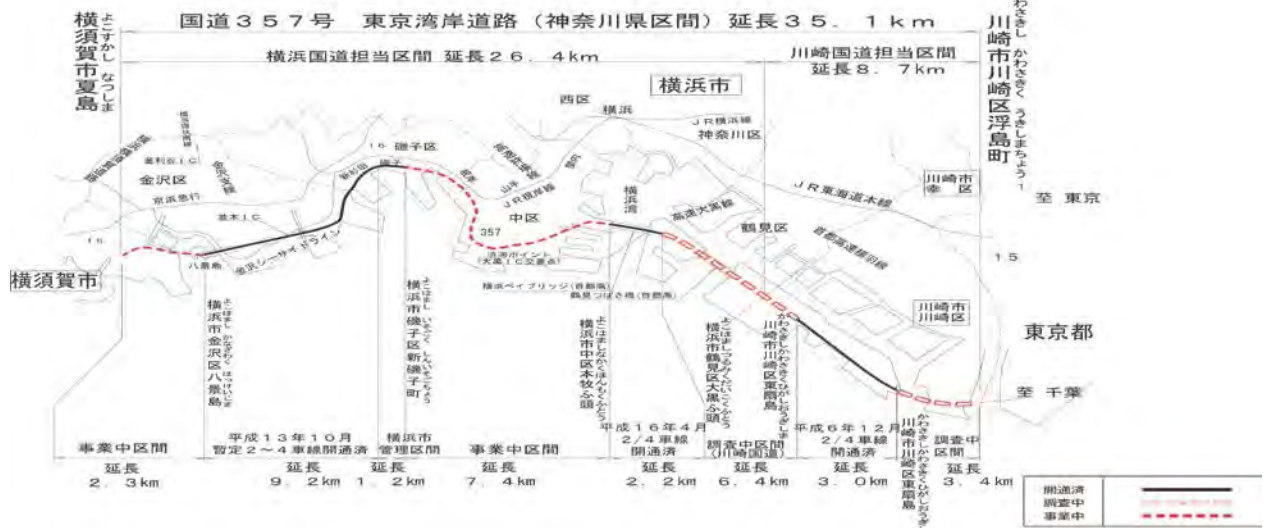
国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)は、川崎市川崎区浮島町から横須賀市夏島までの間の延長35.1kmの区間であり、そのうち横浜国道は川崎・横浜市境から横須賀市夏島までの延長26.4kmを整備しています。

これまでに磯子区新磯子町から金沢区八景島の延長約9.2km、横浜ベイブリッジ一般部の延長2.2kmの併せて延長11.4kmが暫定2~4車線で開通しています。

中区本牧ふ頭から磯子区新磯子町までの間の延長7.4km区間のうち、本牧地区については、道路設計、根岸地区については、道路設計及び橋梁・改良工事を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、本牧地区の用地買収、根岸地区の橋梁、改良工事等を実施する予定です。



根岸地区の橋梁架設後の状況(平成24年4月撮影)



根岸地区の橋梁架設工事状況(平成24年4月撮影)

あつぎはだのどうろ 国道246号 厚木秦野道路

(厚木市、伊勢原市)
平成24年度事業費: 4.9億円

概要

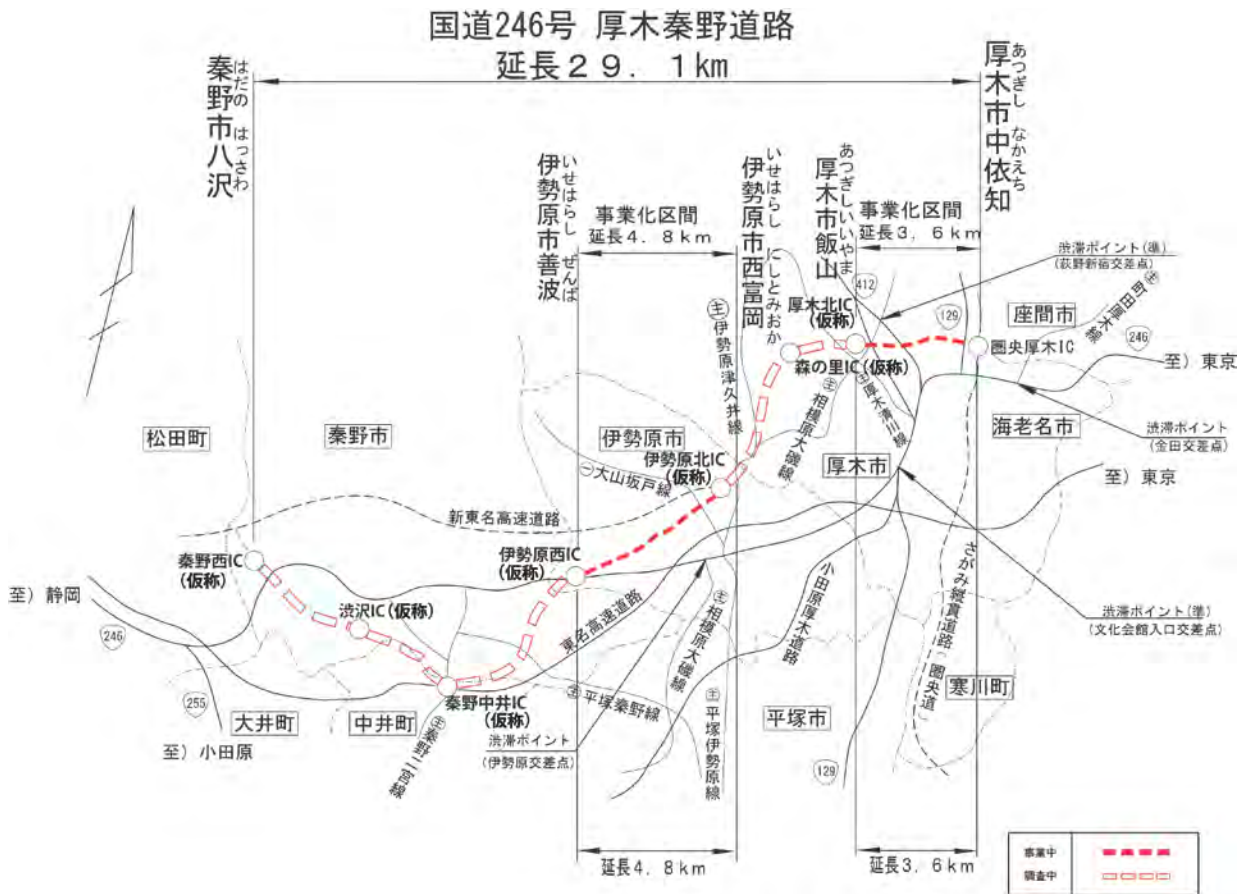
国道246号厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、東名高速道路、新東名高速道路、さがみ縦貫道路と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成する道路です。

これまでの状況

厚木市中依知^{なかえち}～厚木市飯山^{いいやま}[厚木地区(延長3.6km)]までの間及び伊勢原市西富岡^{にしとみおか}～伊勢原市善波^{ぜん}[伊勢原地区(延長4.8km)]までの間が事業化しており、これまで調査設計及び用地買収を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査を実施する予定です。



国道246号 ^{はだの} ^{かんれん} 秦野IC関連

(秦野市)
平成24年度事業費:0.1億円

概 要

国道246号秦野IC関連は、新東名高速道路と国道246号を接続するインターアクセス道路整備事業です。

これまでの状況

秦野市^{しょうぶ}菖蒲～秦野市^{はっさわ}八沢の間の延長0.8kmについて、調査設計を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、調査設計を実施する予定です。



国道246号 ^{やまきた} 山北バイパス(向原地区) ^{むこうはら}

(山北町)

平成24年度事業費: 1.0億円

概要

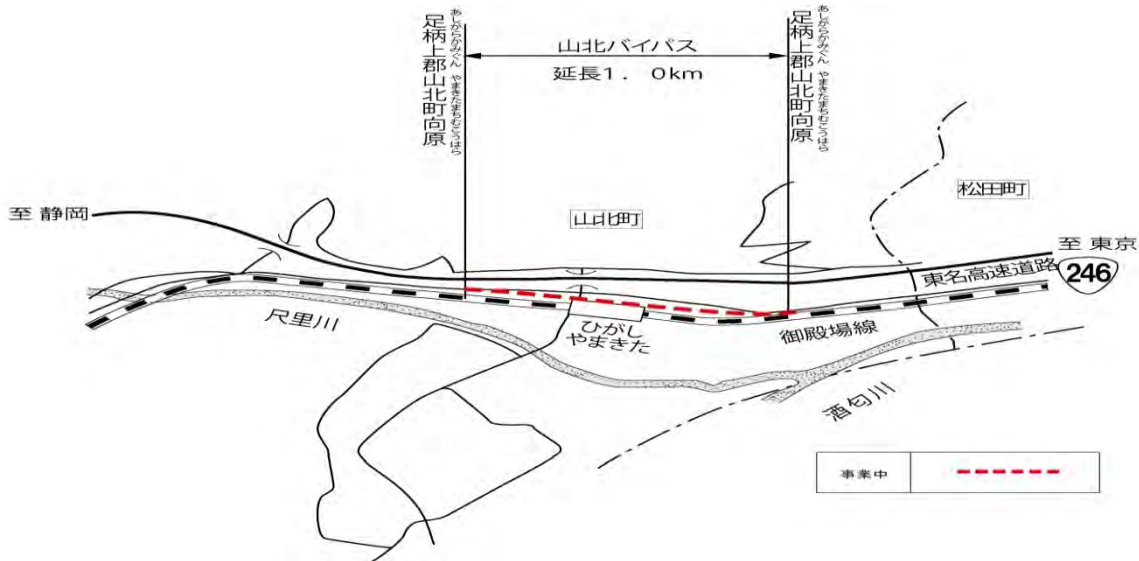
国道246号山北バイパスは、足柄上郡山北町向原地先における線形不良区間、狭小幅員区間の解消を目的とした延長約1.0kmの道路です。

これまでの状況

山北町向原地区延長1.0kmについて、改良工事を実施しています。

平成24年度の予定

山北町向原地区において改良、舗装工事を実施する予定です。
また、山北バイパス(延長1.0km)が今年度、開通する予定です。



現在の状況(平成24年1月撮影)



現道246号取付け部の状況(平成24年4月撮影)

国道1号 おだわらはこねどうろ 小田原箱根道路

(小田原市、箱根町)
平成24年度事業費：9.0億円

概要

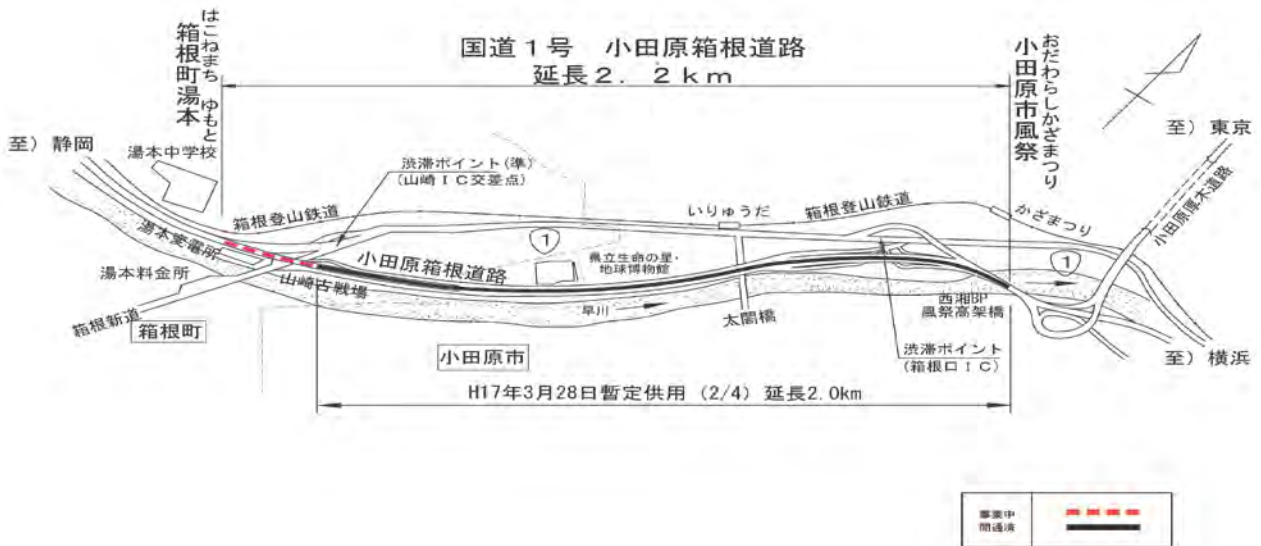
国道1号小田原箱根道路は、国道1号の小田原市風祭から足柄下郡箱根町湯本までの間の交通混雑の解消を目的とした道路です。

これまでの状況

小田原市風祭～足柄下郡箱根町湯本までの間の延長2.2kmのうち、2.0km区間については平成17年3月に2車線にて開通しています。

平成24年度の予定

今年度は、未開通区間の道路設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



現在の状況(平成24年1月撮影)



終点部の改良工事状況(箱根町湯本)(平成24年4月撮影)

国道1号 しんしょうなん 新湘南バイパス

(茅ヶ崎市、平塚市、大磯町)
平成24年度事業費:0.1億円

概要

国道1号新湘南バイパスは、国道1号の茅ヶ崎市、平塚市及び周辺部の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした自動車専用道路です。

これまでの状況

藤沢IC～茅ヶ崎西ICまでの間(延長8.4km)は、昭和63年3月に4車線にて開通しています。
また、茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸ICまでの間(延長1.2km)は、平成7年12月に4車線にて開通しています。

平成24年度の予定

今年度は、未開通区間の調査設計を実施する予定です。



国道16号 かながわ 神奈川16号環境対策 ごうかんきょうたいさく

(横浜市)

平成24年度事業費:0.3億円

概要

神奈川16号環境環境対策は、神奈川県内の国道16号(延長72.2km)における騒音環境の改善を目的とした沿道環境整備事業です。

横浜国道事務所では、管内の国道16号の延長55.6kmの整備を推進します。

平成24年度の予定

今年度は、横浜市内において、遮音壁等の設計を実施する予定です。

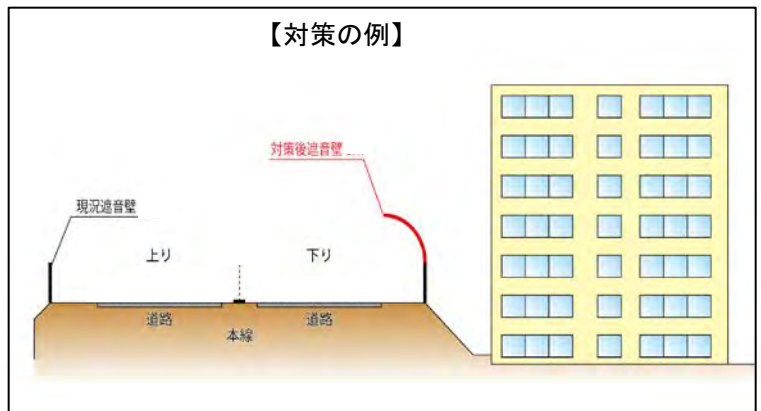


【現況写真(国道16号保土ヶ谷BP)】

平成23年12月撮影



【対策の例】



その他の改築事業

国道16号 よこすかちく 横須賀地区 かいしゅう トンネル改修

(横須賀市)

平成24年度事業費:0.1億円

概要

国道16号横須賀地区トンネル改修は、横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

これまでの状況

横須賀市 よしくらちょう 吉倉町1丁目～横須賀市 おっぱまちょう 追浜町1丁目までの間に存在する、新浦郷、新船越、新田浦、新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、調査設計を実施する予定です。

国道1号 かわさき 川崎1号 ごうかんきょうせいび 環境整備

(川崎市)

平成24年度事業費:0.7億円

概要

国道1号川崎1号環境整備は、川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めることを目的とした沿道環境整備事業です。

これまでの状況

川崎市 こむかいなかのちょう 幸区小向仲野町～川崎市 やなぎちょう 幸区柳町の間 の 延長2.8Kmについて、環境対策の検討を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計等を実施する予定です。

交通安全対策事業

よこはまえきまえエレベーターせいびじぎょう
国道1号 横浜駅前EV整備事業

(横浜市)

平成24年度事業費:1.2億円

概要

国道1号横浜駅東口歩道橋は、乗降客が多い大規模ターミナルである横浜駅の東口周辺にあり、歩行者数も15.4千人/日と非常に多く、駅周辺は大型商業ビルが隣接しているため、買い物客がとて多い場所です。また、バリアフリーの重点整備地区にも指定されています。

このため、既設の横浜駅東口歩道橋にエレベーター昇降施設を整備し、バリアフリー化を図るものです。

平成24年度の予定

平成24年度は、エレベーター昇降施設の工事を実施し、今年度完成する予定です。

【位置図】



【平面図】



【EVイメージ図】

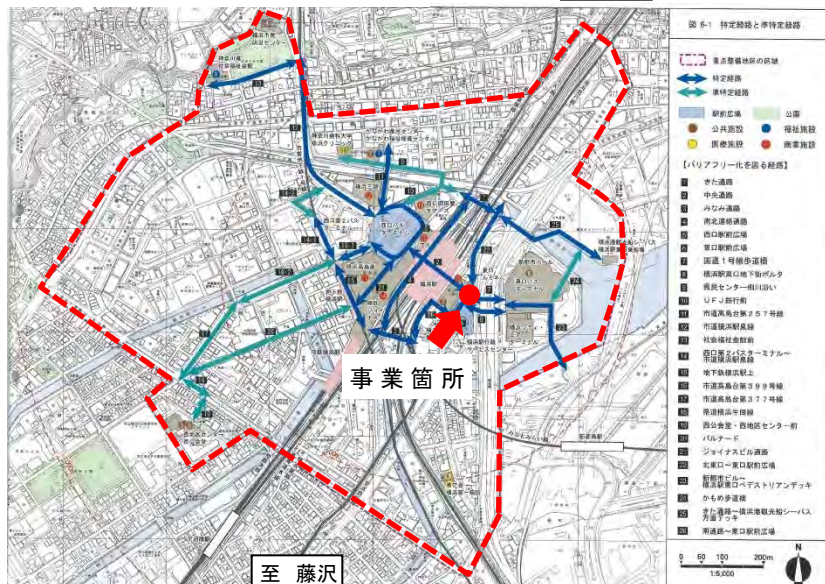


【写真(現況)】平成22年6月撮影



【バリアフリー重点整備地区平面図】

至 川崎



至 藤沢



交通安全対策事業

ちがさき ちく じてんしゃどうせいびじぎょう
国道1号 茅ヶ崎地区自転車道整備事業

(茅ヶ崎市)

平成24年度事業費:1.95億円

概 要

国道1号茅ヶ崎地区自転車道整備は、JR茅ヶ崎駅周辺に位置し、自動車交通量は約2万5千台/24h、自転車交通量約4.3千台/12h、歩行者交通量約3.1千人/12hと自転車利用者が多い地区のため、歩行者と自転車の接触事故防止の必要性が高い場所となっています。

このため、センターゼブラを縮小し、路肩に自転車レーン設置を行い、自転車通行環境の改善により道路利用者の安全性向上による交通事故の防止を図ります。

平成24年度の予定

平成24年度は、関係機関協議及び工事を実施し、今年度完成する予定です。

【位置図】

【現況写真】

【整備イメージ図】

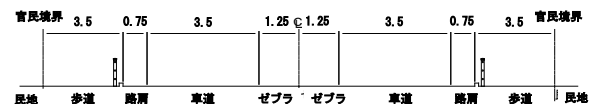


【平面図】

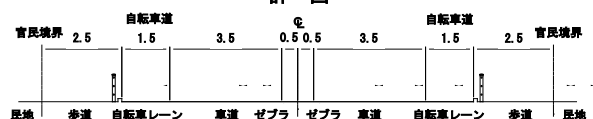


【断面図】

現況



計画



共同溝事業

平成24年度事業費:0.3億円

概要

共同溝は地下に設置されるため地震災害などに強く、加えて路面の掘削を規制するとともに各種公益物件を効率的に集約し、円滑な道路交通の確保を図ることを目的として整備を推進します。

平成24年度の予定

現在事業中の区間において、主に路面復旧工事を推進します。

【事業箇所】

国道16号 保土ヶ谷共同溝

電線共同溝事業

平成24年度事業費:36.2億円

概要

電線共同溝の整備により無電柱化を図り、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観や防災性の向上等の保全を図ることを目的として整備を推進します。

平成24年度の予定

現在事業中の区間において、主に本体工事、路面復旧工事等を推進します。

【主な事業箇所】

国道1号 本村1丁目電線共同溝、汲沢町電線共同溝、原宿電線共同溝

国道16号 保土ヶ谷(2)電線共同溝

国道246号 平沢電線共同溝、溝の口電線共同溝 他18箇所

【整備前】



【整備後】



電線共同溝整備の事例 (国道1号 国府津電線共同溝)

維持管理

主な概要

横浜国道事務所では国道1号、15号、16号、246号、357号、409号の6路線、延長約256.1kmを管理しており、道路を安全で安心して利用していただくため、巡回、道路清掃、路面の補修などを実施しています。

また、高度経済成長期に集中して建設された道路ストックの長寿命化等予防保全対策を実施します。



巡回
(落下物回収)



清掃
(路面清掃・排水施設清掃等)



路面補修

台風、集中豪雨、異常時巡回の実施や緊急処理を実施し、交通の確保を行います。

平成23年7月より横浜国道事務所で行っている国道1号箱根新道においては、降雪時の凍結防止剤の散布や除雪作業を行います。



台風後の清掃作業
(国道1号西湘バイパス)



除雪作業
(国道1号箱根新道)

維持管理

維持管理に係る取組

横浜国道事務所では、沿道住民の方々、地元自治体、地元小学校、地元企業と協同して、維持管理に係る様々な取組を試行的に実施しております。

1) 除草・剪定の実施時期のお知らせの試行

除草・剪定の予定時期に関する問い合わせが多い地域を対象に、地域住民や道路利用者に対して、除草の予定時期を看板に記載し、お知らせしています。

※川崎市・横浜市内の国道1号、15号で試行的に実施

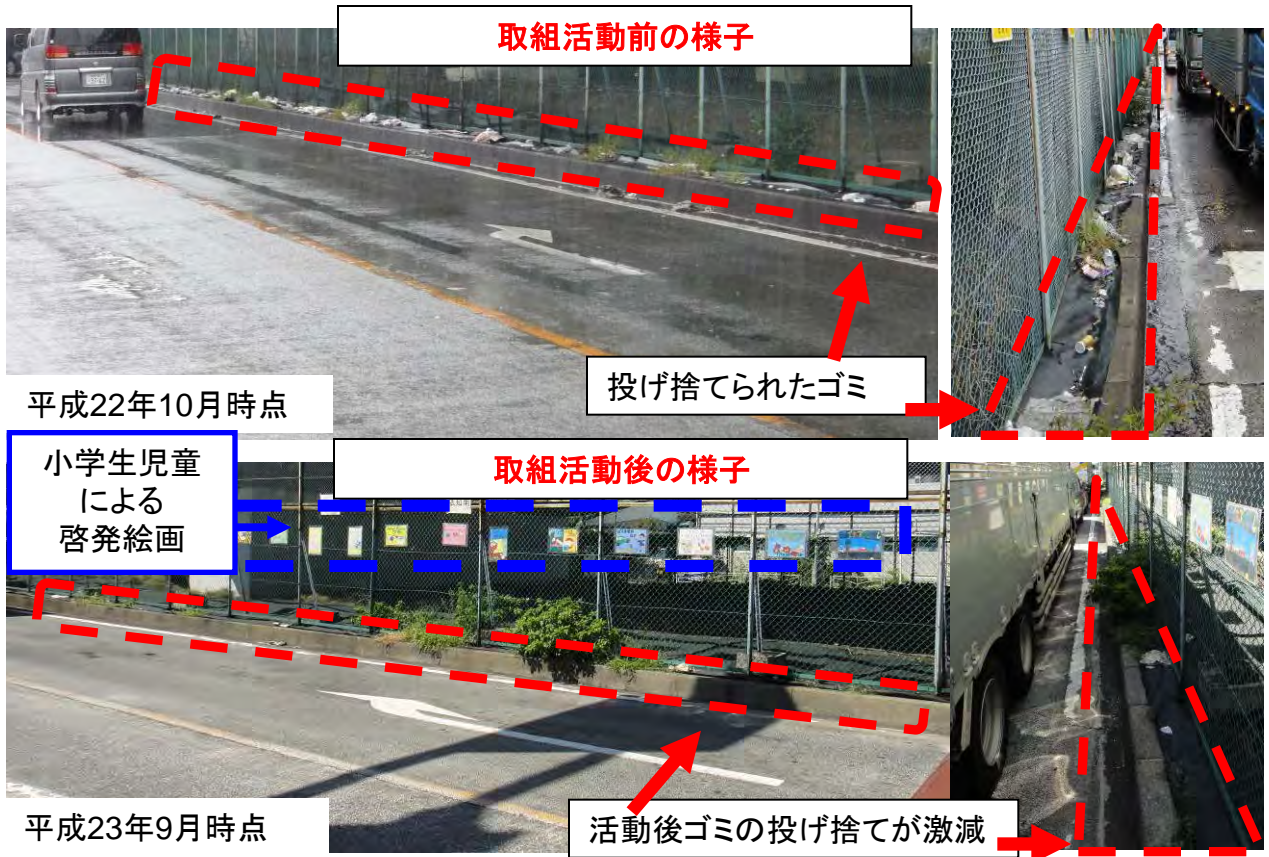


国道1号 歩道部 (横浜市戸塚区)

2) 道路美化活動に係る啓発活動

【国道246号厚木市金田地先における清掃活動及び、環境美化に対する啓発活動の例】
依知南小学校PTA、金田上部自治会、厚木市と協同して実施しています。

※この他、国道357号東扇島地区、国道15号川崎市内でも平成23年度取組を実施しました。



維持管理

平成24年度の主な事業

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁の定期点検により状況を把握し、劣化や損傷が生じた箇所を補修することで橋梁の長寿命化を実施すると共に、橋梁の地震に対するさらなる安全性の確保のための耐震補強工事を実施していきます。

【主な事業箇所(橋梁の長寿命化対策)】

国道1号 青木橋
国道246号 船子橋 他

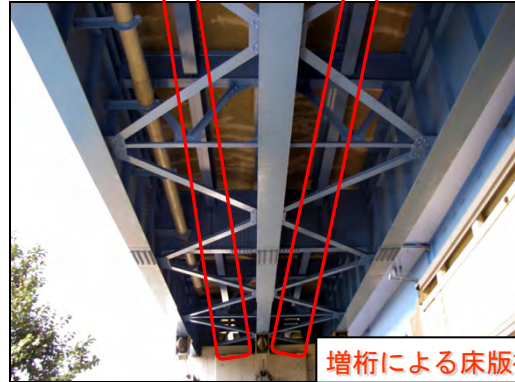
【主な事業箇所(橋梁の耐震補強)】

国道246号 目黒高架橋
国道246号 笹山高架橋
国道246号 新樋口橋 他

橋梁補修施工前



橋梁補修施工後



【国道16号保土ヶ谷バイパス南本宿ランプ橋における補修実施例(増桁による床版補強・ひび割れ注入など)】

また、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、危険ながけ地の崩壊による被害を防止し、災害から道路利用者を守ることを目的に防災工事を実施します。

【主な事業箇所】

国道1号 神奈川県中郡大磯町(東小磯地区)
国道246号 横浜市旭区白根町(白根地区)
横浜市金沢区富岡町(富岡東地区) 他

吹付法枠施工前



吹付法枠施工後



【国道16号横須賀市船越町5丁目地先における補修実施例(吹付法枠を用いた法面防護)】